

第38回飯塚市地域公共交通協議会

第24回飯塚市地域公共交通会議 議事録

日時：平成30年3月16日（金） 15:00～
場所：飯塚市役所 5階 研修室

議事次第

1. 開 会
2. 会長あいさつ
3. 議 事
 - (1) 議案第1号 西鉄バス「碓井・大分坑線」について
4. 報 告
 - (1) 報告第1号 西鉄バス「筑豊（急行）福岡線」について
 - (2) 報告第2号 九州旅客鉄道株式会社への要望活動について
5. その他
6. 閉 会

1. 開 会

事 務 局： 第38回飯塚市地域公共交通協議会並びに第24回飯塚市地域公共交通会議を開会する。

2. 会長あいさつ

事 務 局： まずは当協議会会長である倉智行政経営部長からご挨拶申し上げます。

議 長： 皆様、こんにちは。本日は年度末のご多忙の中、第38回飯塚市地域公共交通協議会並びに第24回飯塚市地域公共交通会議にご出席いただき感謝する。

前回の会議で今年度を締めていたが、今回ご協議いただく案件が生じた為、会議開催とさせていただいた。本日は前回報告した西鉄バス「碓井・大分坑線」についてご協議いただきたい。また、西鉄バス「筑豊（急行）福岡線」及びJR九州への要望活動について報告があり、皆様のご意見をいただきたい。それでは最後までご協議をよろしくお願い申し上げます。

事 務 局： 次に本日の議案の取扱いについて説明申し上げます。今回提出している議案については、この協議会で議論・判断いただき、その結果をもとに市が方針や今後の計画を決定することになる為、ご理解をいただきたい。

3. 議 事

(1) 議案第1号 西鉄バス「碓井・大分坑線」について

事 務 局： （資料1～2 「西鉄バス「碓井・大分坑線」についての説明）

議 長： ご意見やご質問はないか。

佐々木氏(江藤

委員代理): 飯塚市から嘉穂総合高校へ通う学生が50名ほどいるという事だが、反対方向の飯塚市方面へ通う学生には影響があるのかどうか。またデータの的なものがあるのかどうかを併せて伺いたい。

事務局: 西鉄大隈もしくは桂川を経由して飯塚市内へ乗り入れる学生については、現在ある資料では分からないという状況である。

佐々木氏(江藤

委員代理): そのような学生がいないということか。

事務局: 西鉄大隈方向から嘉穂総合高校までバスで通う学生はいると思われる。西鉄大隈方向から飯塚へ来るには別ルートで上山田線という路線があり、西鉄大隈から桂川駅経由で飯塚バスターミナルまで来るルートや、西鉄大隈から新飯塚経由で来るというルートもある為、減便の影響は少ないと思われる。

多田委員: 飯塚市から50人が嘉穂総合高校へ通っているという事だが、その事でもう少し詳しく分析できないものか。飯塚市から50人と聞こえたが、飯塚の中心部から50人なのか、それとも筑穂の方面とかから50人という事なのか、そこまで詳しくは分析されていないのか。

事務局: 飯塚バスセンター、もしくは飯塚市内のバス停から乗っている方が50人ということである。ただし、途中で桂川駅を経由して嘉穂総合高校に乗り入れるので、桂川駅から乗車する方もいる。

議長: 他にご意見やご質問はないか。それでは採決を行う。議案第1号については、事務局の提案を承認するという事よろしいか。

委員一同: 異議なし。

議長: それでは、議案第1号は、承認するものとする。

4. 報告

(1) 報告第1号 西鉄バス「筑豊(急行)福岡線」について

事務局: (資料3 西鉄バス「筑豊(急行)福岡線」についての説明)

議長: ご意見やご質問はないか。

佐々木氏(江藤

委員代理): 今回、筑豊(急行)福岡線の一部区間が廃止という事で、利用者は同じ路線にある特急便の方にシフトする事になるかと思うが、バス停も一部廃止になり不便になる事について、西鉄さんの方ではどのようにお考えかお聞きしたい。

浦野委員: 廃止路線上で、現在急行だけが停まっているバス停、弓削田、見立、ねずが池、筑豊遊園、庄内鳥羽についてですが、実際にねずが池、筑豊遊園等はほとんど利用者がいないという状況である。今後、国道201号経由と国道201号田川バイパスの鳥尾トンネル経由で特急が走っている為、この特急を必要に応じてバス停に停めていく事を検討している。また、筑豊自動車登録事務所バス停というのは旧自動車運転免許試験場だった所だが、ここは今ほとんど利用者がいないという状況なので、筑豊遊園の方に特急を停めるバス停を作りたい。

浦野委員： 庄内鳥羽バス停については、仁保バス停と近畿大学前バス停の間にあるが、そんなに距離もなく、利用者にもほとんど影響がないと思う。今回、田川から飯塚までの区間の廃止という提案をしているが、新飯塚駅から空港の方に便数を残すという形になる。運転手不足により、西鉄筑豊バス全体で現在9名人が足りていない。毎月ハローワークで募集をかけているが、なかなか人が入ってこない状況が続いている。待遇面で少し給料を上げようという事で、去年の4月に給与改定をした影響で人件費が増加しているという非常に厳しい状況にある。そういう中で碓井線にしても、国庫補助をいただきながら運行しているが、先ほど見ていただいたように年間1,800万円以上の赤字が出ている。急行については国庫補助をいただいているので、まったく補助がない状況の中で赤字が続いているという状況である。非常にご迷惑をおかけするが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

議長： 他にご意見はないか。

多田委員： 経営状況が厳しいのは十分理解している。合併前の旧庄内にとって、仁保交差点は旧庄内の重要交差点である。仁保交差点近くにUターン場所がないという事で近畿大学前までの運行にすることだと思うが、手前にダイハツ等の使っていない敷地があり、市がUターン場所等の確保をすれば西鉄さんも助かるのではないか。特に仁保というのは私が覚えている限りでは旧庄内の基幹場所で、あの辺りは人口も抱えているし、そういった点で行政の方も西鉄に協力するような手法を考えていただければと思う。

議長： 多田委員からの要望と今後の検討依頼ということでよろしいか。

多田委員： はい。

議長： 他にご意見やご質問はないか。本件については報告事項の為、以上である。

(2) 報告第2号 九州旅客鉄道株式会社への要望活動について

事務局： 前回の協議会の中で、3月17日からのJR九州の減便に関してご意見が出ていた。本日、口頭にて説明させていただく。ダイヤ改正の中身で飯塚市に影響がある部分では福北ゆたか線が減便という事になる。昼間の時間帯で、直方から博多間で11時から15時台、5往復で10本が減便となっている。次に後藤寺線は朝と夜の時間帯、朝9時台、夜20時台、21時台に3往復6本が減便となっている。それから編成両数の見直しも併せて実施する事になっている。福北ゆたか線で早朝の時間帯、6時台、7時台の通勤通学時間帯に上下線合わせて3本、現在の2両編成もしくは3両編成のところを4両編成に増やすという事になっている。また、後藤寺線も早朝の6時台、7時台の通勤通学時間帯の上りの2本が1両編成のところを2両編成に増やすという事になっている。こういった改正の内容を受けて、資料4の1ページをご覧ください。前回少しお話ししたが、JR九州篠栗線・筑豊本線に関する自治体、商工会議所、商工会等で構成されているJR九州篠栗線・筑豊本線整備連絡協議会、こちらは事務局が飯塚市になっているが、要望事項を取りまとめた上で2月15日にJR九州本社の方に行き、要望活動を行った。その時に要望した内容を要望書という事で添付している。

事務局: 内容を簡単に説明させていただくと、本文 12 行目「現在想定されている平成 30 年春のダイヤ改正による大幅な減便は、通勤、通学、通院、買物など沿線住民の日常生活の維持に重大な影響を及ぼすものです。」という事で記載している。それと併せて、下の項目の 3 項目の 3 番目「普通列車の通過、減便等を推進することは絶対に行わないこと」という記載をしており、ダイヤ改正による地域住民の利便性が損なわれる事のないよう要望活動を行った。それから福岡県を事務局として「地域交通体系整備促進協議会」という組織を作っており、この協議会は主に行政で組織しているが、こちらは資料 4 の 2 ページ目にあり、「地域交通体系整備促進協議会」から JR 九州へのダイヤ改正に係る緊急要望が 1 月 30 日に実施されている。こちらの 13 行目以降に「県及び市町村が、定住人口の確保、観光振興による交流人口の拡大をめざし、地域をあげて地方創生に取り組んでいる最中の大幅な列車の減便は、地方創生に大きな逆風になるといわざるを得ません。」と記載しており、鉄道利用者の利便性の向上、それから維持確保が必要であるとし、要望活動を行っている。

議長: ご意見やご質問はないか。本件については報告事項の為、以上である。

5. その他

事務局: 2 点ほど報告させていただきたい。まず 1 点目は、予約乗合タクシー受付業務委託の受託事業者の決定についてという事で、前回の協議会においてはコミュニティバスの受託事業者決定について報告させていただき、その際に予約乗合タクシーの受付業務の受託事業者の決定については選考中であった為、受託事業者が決定した後に各委員の皆様へ書面報告させていただきとお伝えしたが、本日協議会が開催された為、ここで報告させていただく。予約乗合タクシーの受付業務委託については、平成 29 年 12 月 28 日から平成 30 年 1 月 25 日まで公募を行い、1 月 30 日に書類審査である第 1 次審査、2 月 9 日にプレゼンテーションによる第 2 次審査を行い、受託事業者を選定している。選定の結果、株式会社福岡ソフトウェアセンターに決定した。以上で予約乗合タクシーの受付業務委託の受託事業者のお知らせとさせていただく。2 点目は、皆様に配布している「平成 30 年度版飯塚市コミュニティバス、予約乗合タクシーの利用ガイド」について、今年度、地域公共交通協議会においてご議論いただいたコミュニティ交通の運行計画についてこちらで示している。この利用ガイドについては、昨日 3 月 15 日から市内全戸配布をしている。報告は以上である。

議長: ただ今の報告について何かないか。

6. 閉会

議長: 以上で第 38 回飯塚市地域公共交通協議会並びに第 24 回飯塚市地域公共交通会議を終了する。前回で終了の予定だったが、今回で最後という形になっている。公共交通の維持確保に加え、利便性向上を図るべく慎重にご審議いただいた事を心より御礼申し上げる。